

◆ 5級 ・ 4級 ・ 3級 ◆

| 実技試験                  |  |
|-----------------------|--|
| 手話での読み取り              | 方法： テレビ画面に提示される手話を見て文書の設問に答え、マークシートに解答を記入します。<br><br>内容： 「基本単語の読み取り」と「短文の読み取り」                     |
| 手話での表現<br>(手話によるスピーチ) | 方法： 個別面接の方法で行います。<br><br>内容： テーマが示されますので、そのテーマに基づいて手話でスピーチをします。                                    |
| 手話での会話<br>(手話による応答)   | 方法： 「手話での表現」試験に引き続き、「手話での会話」試験が始まります。<br><br>内容： 手話で表現した内容を参考に各級の受験のめやすの範囲で、面接委員の手話での質問に手話で応答をします。 |



◆ 2級 ・ 準1級 ・ 1級 ◆

| 実技試験                  |  |
|-----------------------|--|
| 手話での読み取り              | 方法： テレビ画面に提示される手話を見て文書の設問に答え、マークシートに解答を記入します。<br><br>内容： 「基本単語の読み取り」と「ストーリーの読み取り」<br>※ 1級は「基本単語の読み取り」試験はありません。 |
| 手話での表現<br>(手話によるスピーチ) | 方法： 個別面接の方法で行います。<br><br>内容： テーマが示されますので、そのテーマに基づいて手話でスピーチをします。  |
| 手話での会話<br>(手話による応答)   | 方法： 「手話での表現」試験に引き続き、「手話での会話」試験が始まります。<br><br>内容： 手話で表現した内容を参考に各級の受験のめやすの範囲で、面接委員の手話での質問に手話で応答をします。             |

| 筆記試験  |  |
|-------|--|
| 試験科目  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聴覚障害者とのコミュニケーション手段とその特徴</li> <li>・ 耳の仕組み、障害と社会環境</li> <li>・ 聴覚障害者の暮らし</li> <li>・ ろうあ者の歴史</li> <li>・ 聴覚障害者関連福祉制度</li> <li>・ 手話の基礎知識</li> </ul> |
| 解答の方法 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2級は四肢択一方式</li> <li>・ 準1級は穴埋め方式<br/>(下記の解答欄から選択)で行います。</li> <li>・ 1級は小論文方式(600字程度)で行います。</li> </ul>  |